

科目名	アメリカ文化研究Ⅰ		担当教員	寺澤 由紀子	
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	
期待される学修成果					
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク				
実務経験					
実務経験を生かした授業内容					
到達目標及びテーマ	多民族国家でありながら、白人中心の社会であるアメリカ。この授業では、そのアメリカをネイティブアメリカン（アメリカ先住民）の視点から捉えなおす。授業を通して、アメリカの歴史、社会、文化について知識を深めると共に、国家の主流ナラティブの中でマイノリティとして生きることとはどういうことかを理解し、メインストリームとのかかわりの中で生じる様々な問題に目を向けながら、自ら問題意識を持ち、クリティカルに考える姿勢を身につける。				
授業の概要	ネイティブアメリカンに関連する音楽、映画などの文化的産物を手がかりに、イギリスの植民政策からアメリカ建国、その後のアメリカ史において、彼らが置かれてきた歴史的状況と闘いのあり方を紐解く。そして、彼らが自らのアイデンティティや権利をどのように維持し、確立しようとしてきたのかを考察する。さらに、アメリカ社会において彼らがどのようなイメージとして表象され、文化や国家の物語にいかに取り込まれてきたかききたのかを、具体的な事例を通して検証する。授業では、グループでの意見交換も重要になるため、主体的、積極的な授業参加が求められる。				

授業計画	
第1回	ガイダンス
第2回	ジョン・スミスとポカホントス
第3回	インディアン戦争
第4回	アメリカの独立と西漸運動
第5回	強制移住法とフロンティアラインの消滅
第6回	同化・再編・終結
第7回	民族自決
第8回	保留地と核
第9回	映画『サンダーハート』
第10回	保留地の抱える問題
第11回	大衆文化におけるネイティブアメリカン
第12回	映画の中のネイティブアメリカン
第13回	消費されるネイティブアメリカン：国家のナラティブへの取り込み
第14回	消費されるネイティブアメリカン：文化盗用 or リスペクト？
第15回	授業の総括と学修到達度の確認試験

事前学修		授業で提示された課題への取り組み
事後学修		リフレクションペーパーへの記入。 配布資料、授業内の意見交換をもとに講義内容を整理し、理解を深める。
フィードバックの方法		課題についての解説やリフレクションのフィードバック、質問へのコメントは授業内に実施する。

補足事項	
------	--

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
プリント配布	なし	なし	なし	なし
参考資料				

成績評価方法	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0%	実施しない
上記以外の試験・平常点評価	50%	最終授業日に行う学修到達度の確認試験
上記以外の試験・平常点評価	20%	リフレクションペーパー、課題、授業内活動への貢献
上記以外の試験・平常点評価	30%	学期中2回行う理解度確認のための小テスト